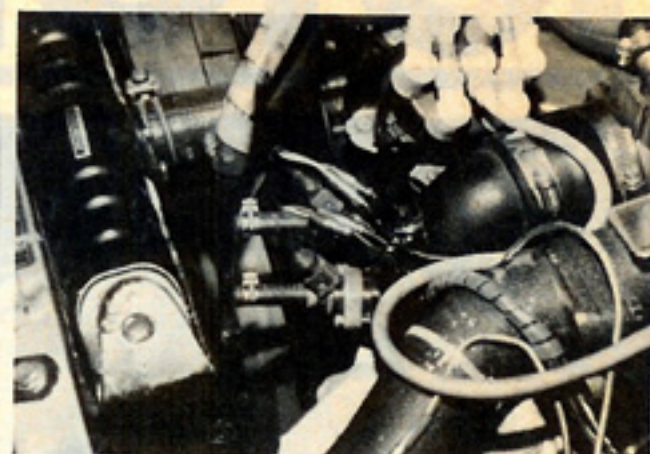
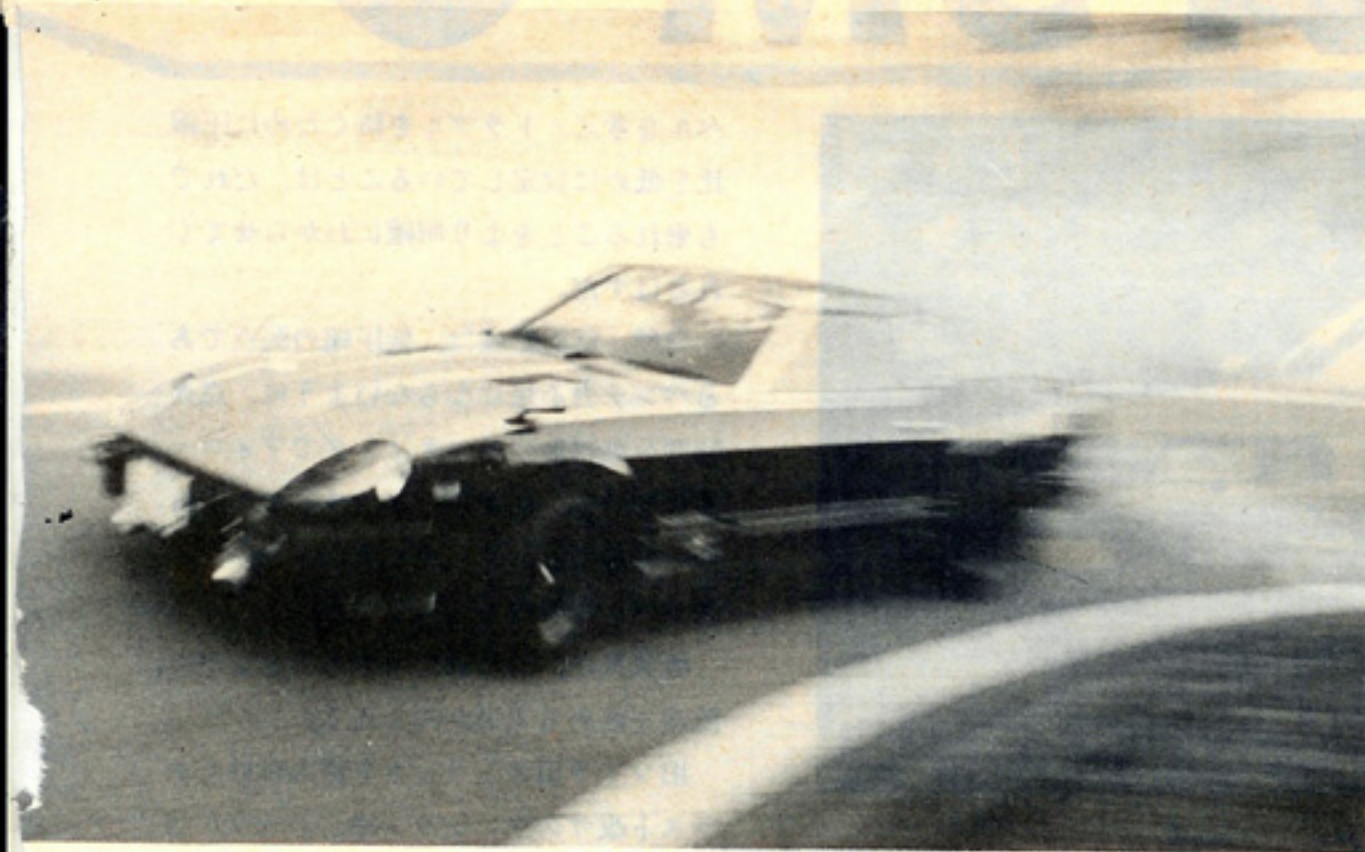




↑インジェクターは320ccという最大容量のものに変更、さらに2本の追加インジェクターを装備する。

高回転まで、二次曲線的にスーッとパワーがでてくる。

この中間加速は、フルチューンマシンに近い鋭さもあわせもっているから、ストリートで大きな力を発揮する。思い通りの加速感をもち、本当に扱いやすいし、乗りやすいクルマといえるだろう。

高回転までメチャ回るといえるエンジンではないが、200km/h内外までの鋭い加速があれば、ストリートでは十分だろう。中速域でのセッティングのよさ、パワーのノリは、マシンを軽く感じさせる。

もうストリートでは気を遣わずにいたいものだ。そして、思い通りの加速を楽しませてくれるクルマに注目したい！トリアルのEG I仕様は、ストリート派のキミにピッタシ照準を合わせたマシン。扱いやすさとチューニング感覚を合わせたタイプのクルマだ。

L28改3.1l EGIターボ

by トリアル

これからのチューンドカーはコレッ!

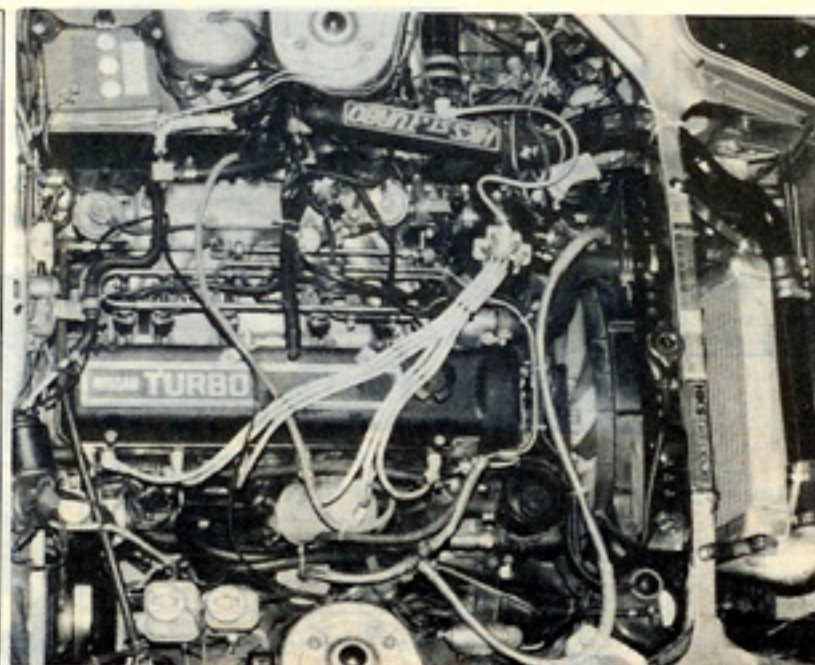
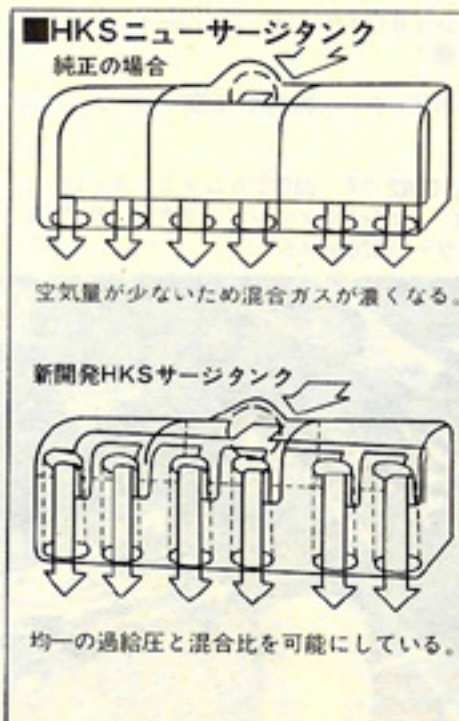
ボクらが本当に望むチューンドカーって、見た目の派手さはないが、日常の足となり、全開するときも、ある程度のパワーをみせてくれる、そんなのじゃないかな。

さて、トリアルのEG I仕様3.1lターボのイグニッションキーを回してみよう。

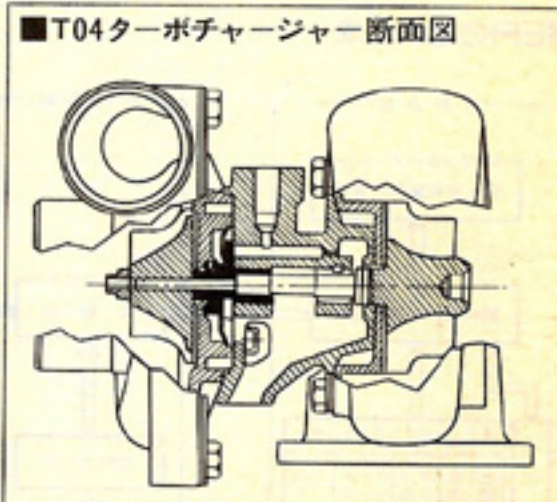
さすがはEG I。アイドリングはピタリと1000回転で安定している。大容量インジェクターに変更しているというのにこのあたりのセッティングは、さすがにトリアル。

おまけに2000回転そこそこの低回転でのトルクもめっぽう強力。レスポンスもT04タービンとは思えないほどいいのだ。

スムーズな走りっぷりには、とても好感がもてる。パワーの立ち上がりから、



↑EG I仕様のL28改3.1lにT04ターボを装着するエンジンは、驚くほどスムーズなパワーの出方をする。中速の加速域はなかなかのものだ。



PARTS LIST	PRICE(円)
T04ターボキット	218,000
追加インジェクター×2	24,000
HKS インタークーラー	148,000
// Fコン	78,000
// VVC	24,800